

News Release

平成 23 年 1 月 11 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

ジャパンバイオエナジー（株）に対し、「DBJ 成長支援プログラム（日本元気プログラム）」に基づく融資を実施 ～同プログラム四国支店第 1 号案件～

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下「DBJ」という。）は、ジャパンバイオエナジー株式会社（本社：神奈川県川崎市川崎区、代表取締役社長：八田堅嗣、以下「当社」という。）に対し、「DBJ 成長支援プログラム（日本元気プログラム）」に基づく融資を実施しました。

「DBJ 成長支援プログラム（日本元気プログラム）」は、これまで DBJ が主な資金供給の対象としてきた、（１）地域・生活、（２）環境、（３）ものづくり、（４）インフラ（社会基盤）、（５）海外・事業再編（M&A 等）の 5 分野を対象としてデフレ脱却と着実な経済成長を資金面から一層サポートする、DBJ 独自のプログラムです。

当社は、神奈川県川崎市において建設発生木材等を利用したバイオマス発電事業を実施することを目的に、住友共同電力株式会社（本社：愛媛県新居浜市、代表取締役社長：村上信二）、住友林業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：市川晃）、およびフルハシ EPO 株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：山口直彦）が共同出資により設立した木質チップ供給会社です。当社が製造する木質チップは、当社に隣接する、川崎バイオマス発電株式会社（本社：愛媛県新居浜市、代表取締役社長：戸川裕昭）が運営するバイオマス発電所（発電規模：33,000 kW、平成23年2月より稼働開始予定）に販売されております。

本件は、木質チップ製造工場建設のための設備投資資金を、「DBJ 成長支援プログラム（日本元気プログラム）」の対象として融資を実施したものです。本件対象事業は、木材のリユース・リサイクルを促進し、森林資源の効率的な利用を実現するとともに、CO₂フリーの発電事業を通じて、地球温暖化防止に貢献するものです。本件発電事業の実施により年間約12万トンのCO₂排出量削減が見込まれます。また本件は、同プログラムの適用によるバイオマス発電

News Release

関連設備への融資としては初めての取り組みであるとともに、四国支店第1号案件となります。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後のデフレ脱却と経済成長に資する事業を積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

四国支店 企画調査課 電話番号 087-861-6677